

ウィリアム・メレル・ヴォーリズ来日120年を記念した全6回の講演活動等を通じ、私たちは彼の類まれな行動力と深い慈愛の心に触れてきました。このマップは、その熱き交流から生まれた「気づき」を形にしたものです。ヴォーリズの足跡は、今も私たちのすぐ側に息づいています。この一冊が、まだ見ぬ地への訪問や、そこに住まう人々の新たな交流に繋がることを心より願っています。



ヴォーリズ来日120年記念事業

第1回 2025年2月2日(日)

■基調講演

「いま、なぜヴォーリズさんのの？」

～ヴォーリズさんの志から私たちはなにを感じ取り学ぶべきなのか～

講演：内田 樹 氏(神戸女学院名誉教授・凱風館館長)

■トークセッション

内田 樹 氏(神戸女学院名誉教授・凱風館館長)、田淵 結 氏(関西学院院長)、安川 千穂 氏(ヴォーリズ学園副学園長)、デレク アントニー スペンス ジュニア 氏(滋賀YMCA勤務)、寺田 百花 氏(立命館大学卒)

時間 13:30～16:10

会場 滋賀県立男女共同参画センター G-NETしが
(滋賀県近江八幡市鷹飼町 80-4)

第2回 2025年4月26日(土)

■テーマ

「乙女建築なヴォーリズさん」

～ヴォーリズさんと旅の楽しみ～

講演：甲斐 みのり 氏(文筆家)

■トークセッション

甲斐 みのり 氏(文筆家)、桃井 一至 氏(写真家)

時間 13:30～16:20

会場 ヴォーリズ平和礼拝堂 ヴォーリズ学園本館 5階
(滋賀県近江八幡市市井町 177)

第3回 2025年5月31日(土)

■テーマ

「世界の中心でヴォーリズ サミット」

1限：「湖国の風景とヴォーリズさんたちの働き」

記録フィルム「湖畔の人々」(1937年)上映

解説：八幡 一男 氏(京都新聞編集委員)

2限：「ヴォーリズ建築に住まう音楽家との縁(えにし)」

演奏：宮本 謙二 氏(音楽家)、吉田 桂子 氏(音楽家)

3限：「ヴォーリズ建築を用いたロケーションあれこれ」

解説：有田 高志 氏(滋賀ロケーションオフィス 室長補佐)

4限：「『米来留 日本を愛したニッポンジン』制作について」

解説：山口 秀富美 氏(びわ湖放送(株)企画編成局長/メディア戦略室長)

時間 13:30～16:20

会場 ヴォーリズ平和礼拝堂 ヴォーリズ学園本館 5階
(滋賀県近江八幡市市井町 177)

放課後：「集まれ！ヴォーリズサミット大懇親会」

時間 17:30～19:30

会場 グリーンホテル YES 近江八幡

第4回 2025年7月19日(土)

■テーマ

「ヴォーリズさんのびっくりポン！」

1限：国会議事堂のドアノブってヴォーリズさん？

講師：大門 耕平 氏(東北学院大学准教授)

2限：ヴォーリズ建築と観光まちづくり

講師：角野 幸博 氏(関西学院大学名誉教授 ヴォーリズ研究センター長)

3限：近江八幡とヴォーリズ建築～近代建築調査2025より～

講師：山形 政昭 氏(関西学院大学 ヴォーリズ研究センター研究員)

時間 13:30～16:20

会場 ヴォーリズ平和礼拝堂 ヴォーリズ学園本館 5階
(滋賀県近江八幡市市井町 177)

第5回 2025年9月20日(土)

■テーマ

「ヴォーリズさん、満喜子さんをテレビドラマに！」

1限：「ヴォーリズタイムスリップ 一柳家と米来留さん」

講師：佐竹 章吾 氏(元近江八幡資料館長)

2限：「負けんとき ぜったいやらなあかんやん！」

講師：玉岡 かおる 氏(作家)

3限：「九転十起」と「負けんとき」広岡浅子と一柳満喜子～(対談)

講師：玉岡 かおる 氏(作家) & 大枝 恭子 氏(大同生命保険株式会社 執行役員)

時間 13:30～16:20

会場 ヴォーリズ平和礼拝堂 ヴォーリズ学園本館 5階
(滋賀県近江八幡市市井町 177)

第6回 2025年12月7日(日)

■総括講演

「愛と平和に満ちた共に生きる社会をめざして」

講師：小原 克博 氏(同志社大学第35代学長)

■対談

小原 克博 氏(同志社大学第35代学長)

岡村 遍導 氏(ワイスメンズクラブ国際協会西日本区次期理事/観音正寺管長)

■報告

「ヴォーリズの足跡を訪ねる北米旅考」&「ヴォーリズ建築を巡る韓国祈りの旅」

今後の「バンザイなこっちゃ！」のVision

時間 13:30～16:30

会場 ヴォーリズ平和礼拝堂 ヴォーリズ学園本館 5階
(滋賀県近江八幡市市井町 177)

発行 ヴォーリズ来日120年記念事業「バンザイなこっちゃ！」協議会

(構成メンバー)

委員 | 滋賀県、近江八幡市、近江八幡観光物産協会、近江八幡観光ボランティアガイド協会、びわこビジターズビューロー、(株)平和堂

近江八幡まちや倶楽部、近江兄弟社グループ

監事 | (株)関西みらい銀行、大同生命保険(株) 顧問 | 関西学院大学ヴォーリズ研究センター、ヴォーリズ建築文化全国ネットワーク

問合せ 近江八幡観光物産協会 TEL 0748-32-7003

「ヴォーリズ来日120年記念事業(2025年度実施)」

世界の中心、 その軌跡を歩く

Omihachiman is the center of the world.

—滋賀・ヴォーリズ建築探訪マップ—

ヴォーリス建築を巡る

—その精神と温もりに触れる旅—

ウィリアム・メレル・ヴォーリス(日本人名:一柳米来留)は、「建築物の品格は、人格と同じくその外装よりもむしろ内容にある」との信念で、全国各地に約1600にも及ぶ建築設計に携わりました。

住む人のことを第一に考えた、優しく温かみのある彼の建築は、時代を越えて多くの人に愛され、今日も利活用されています。

本マップでは、滋賀県内や近江八幡市内のヴォーリス建築の一部を紹介します。

是非、現地へ足を運び、建物、そしてそこに集う人々との交流を通じて、ヴォーリスの精神を肌で感じてみてください。



A 近江八幡市エリア

●ヴォーリス記念病院



B 高島市エリア



C 大津市・草津市エリア



D 彦根市・豊郷町エリア



E 甲賀市・日野町エリア



散策の心得

ヴォーリス建築には、今も生活の場として使われている建物が多くあります。外観見学は公道から行い、敷地内への立ち入りやプライバシーの侵害にご配慮をお願いします。また、内部公開施設ではマナーを守り、靴下をご着用ください。皆様の温かな心遣いが、この貴重な文化遺産を未来へと繋ぎます。

カフェで寛ぐ、歴史のひととき

1921年に改築された、日本最初期のスパニッシュ様式を誇る名建築です。一時は空き家となりましたが、現在は「一粒の会」の手で保存再生され、街の交流拠点として親しまれています。館内には「テイクアウトカフェひとつの種」を併設。かつて手紙が行き交った温かな空間で、ゆったりとした時間を過ごしてみませんか。



A-01
旧八幡郵便局
近江八幡市仲屋町中8/
TEL: 0748-33-6521/
開館: 土・日曜

1913年、近江ミッションのメンバーであったウォーターハウスの住居として建てられた邸宅です。2023年からは、歴史的な趣を活かした宿泊施設や喫茶室「メレルの庭」として新たな歩みを始めました。かつての温かな家庭の面影を残す空間で、宿泊やティータイムを通して、ヴォーリス建築の魅力を五感で体験できる注目のスポットです。

暮らすように楽しむ、ヴォーリス建築の美



A-02
ウォーターハウス記念館
近江八幡市池田町5丁目21/TEL: 0748-32-8660/開館: 宿泊はウェブサイトから予約可(年中無休)、喫茶室のオープン日はInstagramに掲載、特別公開等もあり



A-03
吉田悦蔵邸
近江八幡市池田町5丁目21-3/開館: 予約制で公開中 (HPより予約可)



ヴォーリスの側近の一人として活躍した吉田悦蔵の邸宅で、1913年の築造以来、四代にわたり大切に守り継がれています。かつては家政塾やモデルハウスの役割も担った多目的な空間でした。現在は、その歴史ある趣をそのままに、予約制見学会や演奏会を開催するなど、今もなお人々の交流を育み続けています。

絆が守り抜く、ヴォーリス建築の原点

A-04 ツッカーハウス・五葉館・礼拝堂

近江八幡市北之庄町492/TEL: 0748-32-2456(ヴォーリス記念館)/開館: 木(午前のみ)・金・土曜のみ限定公開(1日2回: 10時~、13時~)、夏・冬季を除く(要電話予約)※団体は、曜日に関係なく年中予約受付可



世界の中心と定めた、近江八幡の建築群

「近江八幡は世界の中心である」——。ヴォーリスはそう断言し、この地を拠点に志を共にする仲間と活動を広げていきました。まずは、彼の活動の原点であり、今も多くの名建築が大切に守られている近江八幡市内の施設をご紹介します。ここから始まる彼の情熱の足跡は、滋賀県全域へと繋がっていきます。

子どもたちの歓声が響いた、学園のシンボル

1931年、ヴォーリス学園の前身「清友園」の園舎として、メンソレータム(現・近江兄弟社メンタム)社創始者ハイド夫妻の寄付により建設されました。2003年まで幼稚園として多くの子どもたちを育んだ建物は、現在、国の登録有形文化財として一般公開されています。創立者ゆかりの品々を展示し、今も学園の教育精神を象徴する場所となっています。



A-05
ハイド記念館・教育会館
近江八幡市市井町177/TEL: 0748-32-3444(ヴォーリス学園)/開館: 火~日曜(年末年始を除く)



隣人愛を实践する場として建てられた医療施設群

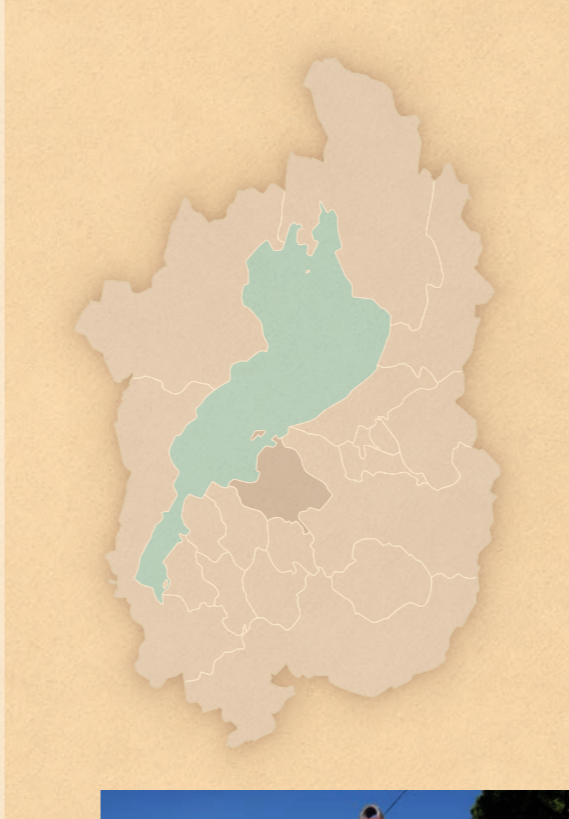
ツッカーハウスは、当時、不治の病とされていた結核を、まだ特效薬がない中、自然の恵みを利用し、治療の手助けにしたヴォーリスの『いのち』に対してのまなざしを具体的に設計で示した建築です。同敷地内に三棟の国登録有形文化財があります。「ツッカーハウス」は改修工事を終えて「五葉館」「礼拝堂」と共に一般公開されています。



ヴォーリスが亡き親友を記念して建てた、最初の設計作品です。移築の際にデザインは変更されましたが、部材は当時のものが再利用されています。特筆すべきは、彼が初期の7年間を過ごした「祈りの部屋」。かつての書斎と小部屋が当時の姿で保存されており、ヴォーリスの精神的拠点としての静謐な空気を今に伝えています。

親友への想いを刻む、はじまりの地

A-07
アンドリュース記念館(旧YMCA会館)
近江八幡市為心町中31/開館: 特別公開時のみ



A-08
シメオン黙想の家(旧佐藤久勝邸)
近江八幡市土田町1191/開館: 現在は、特別ツアー等のみ
YouTubeで内・外観を公開中

建築士の自邸から、黙想の場へ

1931年、ヴォーリス建築事務所の建築士・佐藤久勝の自邸として建てられました。一時は空き家となりましたが、保存再生を経て現在は「シメオン黙想の家」へと生まれ変わっています。キリスト教超教派のアシュラム運動や静かに祈るための研修所として活用されており、時を越えてなお、穏やかで清らかな空気が建物全体を満たしています。



A-09 旧伊庭家住宅

近江八幡市安土町中191/TEL: 0748-46-6324/開館: 木・金・土・日曜(8月は予約のみ、1月・2月は土・日曜、祝日のみ)

受け継がれる、芸術家・伊庭慎吉の面影

1913年に建てられた、ハーフティンバーが美しいチューダー様式の木造建築です。住友総理事の四男であり、村長や宮司、画家として活躍した伊庭慎吉の邸宅として知られています。現在はボランティア団体「オレガノ」が運営を担い、地域の歴史を伝える場として公開。芸術を愛した主人(あるじ)のこだわりが、建物の随所に息づいています。



ヴォーリスが愛した、安らぎの我が家

1931年、ヴォーリスが満喜子夫人と共に過ごした旧私邸です。館内には夫妻の日常生活を彩った遺品や貴重な資料が当時のままの空気感で展示されています。また、氏の生涯や多彩な事業を紹介する映像も上映されており、近江八幡に捧げられた深い情熱とその歩みを、より深く知ることができる特別な場所です。

A-06
ヴォーリス記念館
近江八幡市慈恩寺元11/TEL: 0748-32-2456/開館: 火~日曜(祝日・年末年始等を除く)※要電話予約



B-01

日本基督教団 今津教会
高島市今津町今津1650-1

湖西に佇む、 ヴォーリス通りのシンボル

「今津ヴォーリス通り」の中央に位置する、美しい教会堂です。1934年、教会会館の隣に建設されました。現在は幼稚園としても活用されており、時を刻んだ趣ある空間には今も子どもたちの健やかな声が響いています。湖西に根ざしたヴォーリス建築の温もりを感じられる場所です。

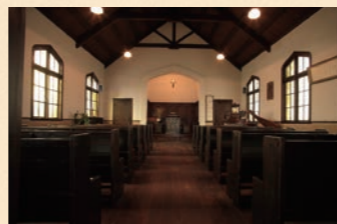


湖辺のまちに佇む、 祈りのヴォーリス建築

琵琶湖に近い堅田のまちに建つ、ヴォーリス設計による教会堂です。1930年に建てられ、地域の信仰の拠点として大切に守られてきました。簡素で温かみのある意匠が、静かな祈りの空間を形づくっています。湖辺の暮らしに寄り添いながら、今も変わらず人々を迎え続けています。

C-01

日本基督教団 堅田教会
大津市本堅田3丁目18-6



100年の時を刻む、 白壁の図書館

1928年、地元出身の実業家・井上好三郎の寄贈により建てられました。戦前のヴォーリス建築の中でも「珠玉の小品」と評される、気品漂う佇まいが魅力です。2004年の改修を経て、現在は保存・活用を願う市民団体「稚木の会」が管理運営を担っています。今も毎月第2・4日曜日に館内を公開し、以外の日は貸館として市民に憩いの場を提供しています。



E-01

旧水口図書館

甲賀市水口町本町1-2-1
(甲賀市立水口小学校内)
／開館：毎月第2・4日曜
(10時~16時)

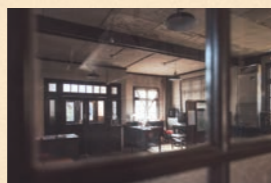


木の温もり溢れる、 音楽と交流の館

1936年に建てられた、和洋折衷のデザインが特徴的な旧郵便局舎です。約40年にわたり地域の窓口として親しまれ、現在は「ヴォーリス今津郵便局の会」が大切に管理・運営しています。館内に一歩足を踏み入れれば、当時のままの木の温もりが広がります。コンサートなどのイベントも開催され、今も人々の心をつなぐ場となっています。

B-02

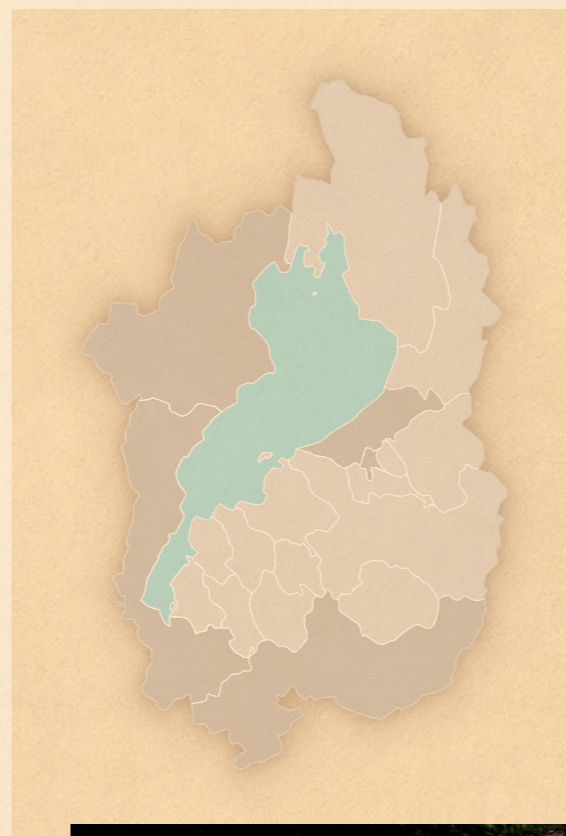
ヴォーリス今津郵便局の会
高島市今津町今津194



近江八幡から 滋賀の街々へ

—受け継がれる
建築遺産—

ヴォーリスの活動は近江八幡に留まらず、湖上をゆく伝道船「ガリラヤ丸」や自転車を駆使して、琵琶湖周辺の各地へと広がりました。その情熱の軌跡は、今も滋賀県内のいたる所に美しい建築として残されています。近江八幡からさらに一歩足を延ばして、地域の人々に愛され続ける多彩な名建築を訪ねてみませんか。



満喜子夫人の情熱が息づく、歴史ある教会

1929年、ヴォーリスの熱意に共鳴した米国人篤志家の寄付により建てられた礼拝堂です。後に併設された幼稚園では、ヴォーリスの妻・満喜子が初代園長を務め、この地の教育に情熱を注ぎました。海を越えた友情から生まれた美しい建物は、今も地域に根ざし、人々の祈りと子どもたちの成長を見守り続けています。

E-02

日本基督教団 水口教会
甲賀市水口町城東3-21



かつて銀行、のちに図書館として親しまれた堅牢な建物。現在は市民団体「あすラボ」が運営し、ヴォーリス建築の歩みを伝える資料館として公開されています。館内には「コトノハカフェ」が併設され、建築の魅力を学べるだけでなく、市民や観光客が憩う交流の場としても人気。散策の合間の休憩にも最適なスポットです。

銀行から資料館へ、 街の記憶を繋ぐ場所



B-03

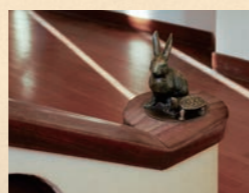
今津ヴォーリス資料館(旧百卅三銀行)
高島市今津町今津175／TEL：0740-22-0981／
休館：月曜日、祝日の翌日、年末年始

東洋一と謳われた、 光溢れる学び舎

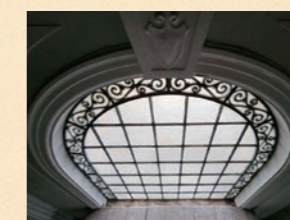
1937年、商社「丸紅」の専務・古川鉄治郎の寄贈により建設されました。当時は「東洋一の小学校」と称賛され、その白亜の美しい姿から「教育の殿堂」とも謳われました。現在は町立図書館などが入る複合施設として再生され、校舎見学も可能です。階段の手すりに並ぶ、ウサギとカメのブロンズ像が今も温かく迎えてくれます。

D-01

豊郷小学校旧校舎群
豊郷町石畑518／TEL：0749-35-3737(豊郷町観光協会)／休館：月曜(祝日の場合は翌日火曜が休館)、年末年始



時を刻む、重厚な円柱とアーチの意匠



1925年築の旧銀行店舗で、2007年まで滋賀銀行甲南支店として親しまれました。正面に並ぶギリシャ建築風の円柱や、玄関上部の美しい半円アーチ窓が、銀行らしい威厳と重厚さを漂わせています。鉄筋コンクリート造の堅牢な美しさは今も健在。商業スペースとして改修工事を進めています。新たな街の拠点として期待されています。

E-03

旧寺庄銀行(現在は非公開)
甲賀市甲南町寺庄1078

